

特別号
2019年2月

+α

3分でわかるシュローダー・ラテンアメリカ

2019年の主役候補、ラテンアメリカ市場の魅力

1. 回復基調のラテンアメリカ株式市場

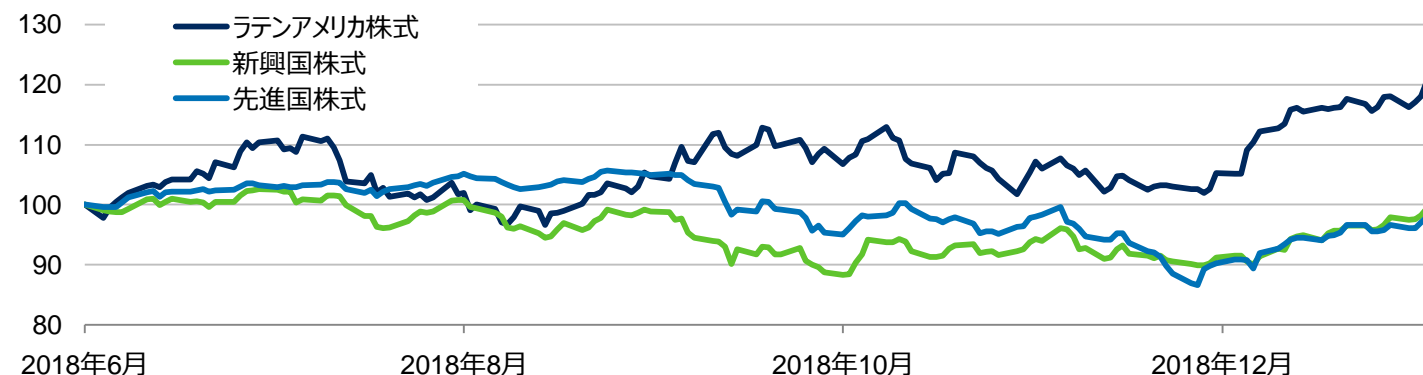
2018年後半以降、欧米を中心に経済指標が弱含んだことを受けて、それまで堅調だった株式市場は横ばいでの推移となりました。特に10月以降は、それまで上昇してきた米国の長期金利が企業業績に与える影響が懸念されたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が今後の経済見通しを下方修正したこと等が背景となり、大きく調整しました。新興国株式市場は、先進国株式市場の影響を受け同じく調整しました。

一方、ラテンアメリカ株式市場は、ブラジルやメキシコでの大統領選を経て政治的不透明感が払しょくされたことや、ブラジルでは景気回復局面にあること等が奏功し、堅調な推移となりました。その結果、下記計測期間においては、他市場の推移とは異なり、ラテンアメリカ株式市場は上昇して推移しています。



2018年後半以降のラテンアメリカ株式市場は顕著に回復

2018年後半以降のラテンアメリカ株式の推移（2018年6月末～2019年1月末、米ドルベース）

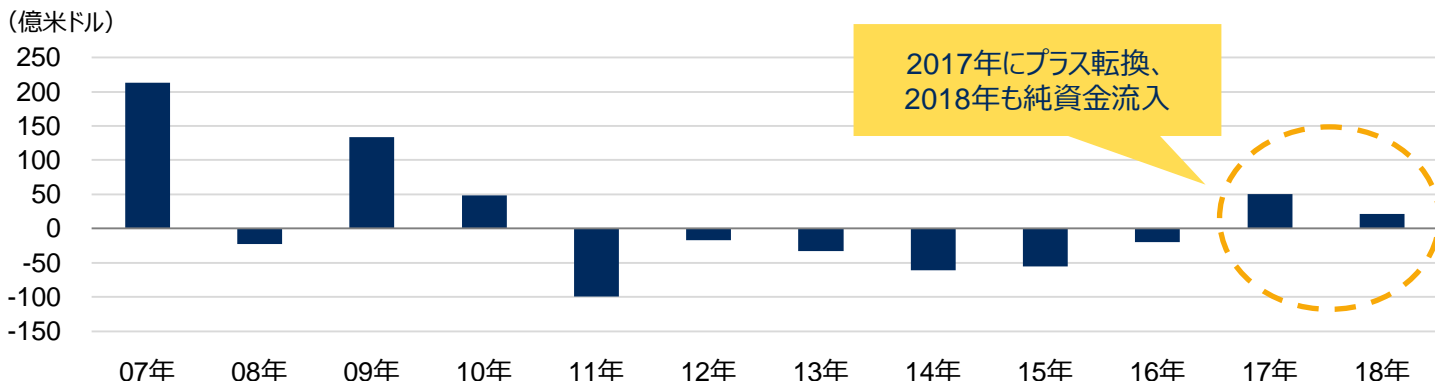


出所：ブルームバーグのデータをもとにシュローダー作成。ラテンアメリカ株式はMSCI EM ラテンアメリカ・インデックス、新興国株式はMSCIエマージング・マーケット・インデックス、先進国株式はMSCIワールド・インデックス、全てトータルリターン。2018年6月末 = 100として指数化。



世界の投資家の目はふたたびラテンアメリカ株式へ

ラテンアメリカ株式ファンド*への純資金流入（2007年～2018年）



出所：Morningstar Directのデータを基にイボットソン・アソシエイツ・ジャパン作成。ファンド・オブ・ファンズ、ファイダー・ファンドおよびETFを除く世界のファンドの資金動向データを集計（2019年1月29日時点）。* ラテンアメリカ株式ファンドはMorningstar Global Categoryのうち、ラテンアメリカ株式、メキシコ株式を合計して算出。
※上記データはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法上の罰則の対象となります。Copyright©2019 Ibbotson Associates Japan, Inc.

※本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。

上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値、運用成果等を示唆・保証するものではありません。巻末のリスク、費用、ご留意事項等を必ずご参照ください。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号 加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会

特別号
2019年2月

+α

3分でわかるシュローダー・ラテンアメリカ

2019年の主役候補、ラテンアメリカ市場の魅力

2. 二つの大国の不透明感後退で堅調なファンダメンタルズに再注目



二つの大国で政治的不透明感が後退



メキシコ

ロペスオブラドール新大統領誕生

- 新空港建設中止など、ポピュリズム（大衆迎合主義）的政策も見られるが、大半の政策は現実路線
- 財政規律が保たれるか、前政権のエネルギー改革に大きな変更がないかを含め、今後の政策運営が注目される

NAFTAにかわる新貿易協定に署名

- 新協定は米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA：US-Mexico-Canada Agreement）
- 特惠関税の条件がNAFTA（北米自由貿易協定）から大幅に変更。自動車分野など、NAFTAに比べて条件は厳しいものの、既存産業への大きな影響は回避



ブラジル

ボルソナロ新大統領誕生

- バラマキ色の強い左派候補を破っての勝利
- 元投資銀行家の経済顧問を起用し市場重視の政策を示しており、総じて市場からの評価は高い
- 年金改革などがスピード感をもって実現され、民間投資の加速、成長率改善、失業率の低下につながるか、景気拡大を受けて企業業績の伸びが加速するかなどが注目

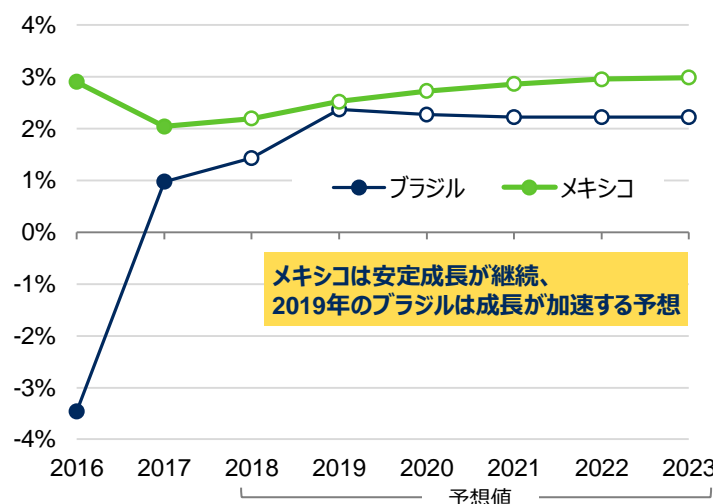
☆ 外的要因の影響を受けにくいブラジル

ブラジルは、公的債務の海外保有比率（2016年）8.7%、外貨建て公的債務比率（2017年）は4.4%と、南アフリカ、ロシアなど多くの新興国と比べて、外的要因からの影響を受けにくいと考えられます。

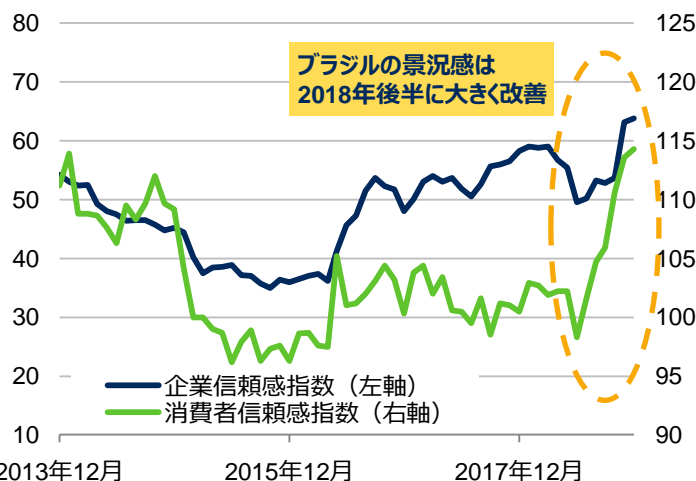


景気回復局面にあるブラジル、安定成長が続くメキシコ

GDP成長率（2016年～2023年（予想））



ブラジルの景況感（2013年12月～2018年12月）



出所：IMF、ブルームバーグのデータをもとにシュローダー作成。GDP成長率は2018年以降予想値。

特別号
2019年2月

+α

3分でわかるシュローダー・ラテンアメリカ

2019年の主役候補、ラテンアメリカ市場の魅力

3. 「シュローダー・ラテンアメリカ株投資」銘柄選択のポイント

ラテンアメリカのさまざまな変化をとらえて投資機会を発掘

- ① グロース、バリューといった特定のスタイルにとらわれず、ラテンアメリカ地域のさまざまな変化をとらえて投資機会を発掘
- ② 中小型株やベンチマーク構成国以外の銘柄など、市場に見過ごされた投資機会にも注力
- ③ 安定した収益成長や高ROEなど、独自の強みを持った銘柄に注目



注目する銘柄の例

- ラテンアメリカ経済の構造変化をとらえて成長する銘柄
- 新しい技術やビジネスモデルが魅力の銘柄
- 世界経済成長の恩恵を受ける銘柄
- 規制緩和、民営化など、構造改革をビジネスチャンスに変える銘柄
- 競争環境の変化により強みを発揮する銘柄

4. 「シュローダー・ラテンアメリカ株投資」の投資銘柄例

これまで企業が取りこぼしてきた顧客層をターゲットとする、新たなビジネスモデルが魅力



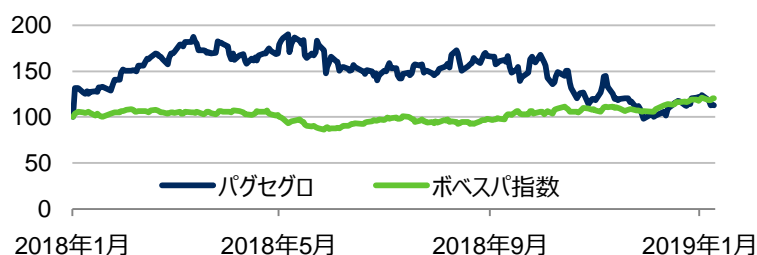
パグセグロ・デジタル (ブラジル、情報技術)

電子決済サービスを提供するフィンテック企業

- 顧客の中心は中小規模の小売業者。低コストで、安全、簡単な電子決済サービスを提供することで、コストが見合わずクレジットカード等、他の電子決済サービスを取り入れることが難しい中小規模の顧客を新規に取り込むビジネスモデルで顧客を拡大。
- 新規顧客のうち、クレジットカード決済を取り入れていなかった顧客の割合は**79%**と、多くの顧客に初めての電子決済サービスを提供。
- 同社はブラジル中小企業の電子決済市場規模の3%程度の顧客を持つにすぎず、今後の拡大余地が大きい。

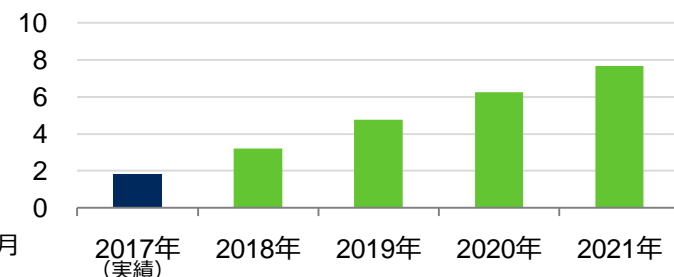


上場来の株価の推移 (ブラジル・リアルベース)



予想1株当たり利益 (EPS) の推移

(ブラジル・リアル)



出所：シュローダー、パグセグロ・デジタル、ブルームバーグのデータを基にシュローダー作成。株価グラフは公募価格を上場日（2018年1月24日）前日の値とし、100として指数化、期間は2019年1月末まで。株価はNY市場の株価をブラジル・リアルベースで取得。株価、指数ともにトータルリターン。※個別銘柄、業種、国、地域等についての言及は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また、運用するファンドにおいて、当該個別銘柄が必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該個別銘柄に対する今後の投資行動について示唆するものでもありません。

特別号
2019年2月

+α

3分でわかるシュローダー・ラテンアメリカ

2019年の主役候補、ラテンアメリカ市場の魅力

【ご参考】ウェブサイトのご案内

シュローダーのウェブサイトでは、ラテンアメリカ株式市場の情報を、マーケット情報内『3分でわかるラテンの今』でご紹介しています。また、ファンドの詳細は「『シュローダー・ラテンアメリカ株投資』販売用資料」でご覧いただけます。ぜひ、一度ご覧ください。



「3分でわかるラテンの今」のページはこちら >>



Global home 方針・開示情報など Japan (日本)

Schroders
シュローダーの運用力 個人投資家のお客様 機関投資家のお客様 マーケット情報 会社情報

3分でわかるラテンの今

2019年1月25日のヴァーレの事故に関するレポートも掲載しています。

3分でわかるラテンの今

2018年12月17日
経済回復が見込まれるラテンアメリカ地域に2019年...

3分でわかるラテンの今

2018年11月26日
個別銘柄の投資機会は健在な一方、メキシコ新政権...

3分でわかるラテンの今

2018年10月30日
ブラジルの選挙結果は市場にプラス

3分でわかるラテンの今

2018年10月25日
ボルソナロ候補優勢と今後のブラジル株式市場見通し



「シュローダー・ラテンアメリカ株投資」の販売用資料はこちら >>



さまざまな投資環境レポートをご提供しています。

シュローダー

検索

http://www.schroders.co.jp/

※上記は作成時点の情報です。ウェブサイトに掲載の情報は今後変更する場合があります。

ファンドの主な投資リスクおよび留意点

基準価額の変動要因

- ファンドは組入有価証券等の価格下落、発行体の倒産および財務状況の悪化、為替変動等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。
- 分配金は、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われるとその金額相当分、基準価額は下がります。また、必ず支払われるものではなく、金額も確定しているものではありません。

組入株式の価格変動リスク、信用リスク

株式の価格は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等を反映し、下落することがあります。また、株式の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合もあります。それらにより組入株式の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。

為替変動リスク

実質外貨建資産について、当該外貨のレートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。

カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制等が設けられた場合には、基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。

流動性に関するリスク

証券やその他の投資対象商品を売買する際、その市場規模や取引量が小さい場合は、流動性が低下し、本来想定される投資価値とは乖離した価格水準による取引が行われたり、価格の変動性が大きくなる傾向があると考えられます。また、政治・経済情勢の急変時等においては、流動性が極端に低下し、より一層、価格変動が大きくなることも想定されます。このように流動性が低下した場合には、基準価額が下落する要因となり投資元本を割り込むことがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

【収益分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

リスクの管理体制

運用部門におけるリサーチや投資判断において、運用リスクの管理に重点を置くプロセスを導入しています。さらに、これら運用プロセスから独立した部門が、運用制限・ガイドラインの遵守状況を含めたファンドの運用状況について随時モニタリングを行い、運用部門に対する牽制が機能する仕組みとしており、これらの体制によりファンド運用に関するリスクを管理しています。

本資料に関するご注意

本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料は、作成時点においてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」という場合があります。）が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知うる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでもありません。本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出された結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性があります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するに伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提となる仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。シュローダー/Schrodersとは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

MSCIは、本資料に含まれるいかなるMSCIのデータについても、明示的・黙示的に保証せず、またいかなる責任も負いません。MSCIのデータを、他の指数やいかなる有価証券、金融商品の根拠として使用する、あるいは再配布することは禁じられています。本資料はMSCIにより作成、審査、承認されたものではありません。いかなるMSCIのデータも、投資助言や投資に関する意思決定を行う事（又は行わない事）の推奨の根拠として提供されるものではなく、また、そのようなものとして依拠されるべきものでもありません。

お申込みメモ

購入単位	<一般コース> 1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 <自動けいぞく投資コース> 1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※原則として購入後のコースの変更はできません。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額。基準価額は1万口当たりとします。
購入代金	原則として購入申込日から起算して6営業日目までにお支払いください。
換金単位	<一般コース> 1口単位または1円単位 <自動けいぞく投資コース> 1口単位または1円単位
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から販売会社にてお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までに販売会社所定の事務手続きが完了した分とします。
購入・換金 申込不可日	申込日当日が次のいずれかの場合には、購入・換金の申込みは受け付けません。 ●国内の休業日 ●ロンドン証券取引所の休業日 ●ニューヨーク証券取引所の休業日 ●ロンドンの銀行の休業日 ●ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件あたり10億円を超える換金の申込みは行えません。
信託期間	2022年9月30日まで（2007年9月27日設定）
繰上償還	受益権口数が25億口を下回った場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	原則、毎年9月30日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。販売会社との契約によっては、再投資が可能です。 なお、分配を行わない場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。 ●配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に 3.24%（税抜3.00%） を上限として販売会社が独自に定める率を乗じて得た額を購入時にご負担いただきます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬等）	<p>ファンドの日々の純資産総額に対して年率2.0304%（税抜1.88%）。</p> <p>毎計算期間の最初の6カ月終了日（当該日が休業日の場合は翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">配分（年率/税抜）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.90%</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.90%</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.08%</td> </tr> </tbody> </table> <p>委託会社の配分には、マザーファンドの運用委託先であるシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに対する報酬が含まれています。</p>	配分（年率/税抜）		委託会社	0.90%	販売会社	0.90%	受託会社	0.08%
配分（年率/税抜）									
委託会社	0.90%								
販売会社	0.90%								
受託会社	0.08%								
その他の費用・手数料	<p>法定書類の作成等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等</p> <p>ファンドの純資産総額に対して年率0.054%（税抜0.05%）を上限とする額。毎計算期間の最初の6カ月終了日（当該日が休業日の場合は翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。</p> <p>組入価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に関する費用等</p> <p>ファンドからその都度支払われます。</p> <p>※運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>								

※上記の合計額は、投資者の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、事前に示すことができません。

ファンドの関係法人

委託会社	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社【設定・運用等】
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社【信託財産の管理等】
販売会社	野村証券株式会社【募集の取扱い等】 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

お申込みに際してのご注意

本資料は、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が設定した投資信託に関する商品説明資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元金および利息が保証されている商品ではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託は、銀行等登録金融機関でお申込みいただいた場合は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

お申し込みの際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。